



令和5年7月19日(水)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

なかよし中島っこ計画～たてわり活動を行いました～

小学校では、たてわり活動を通して、子どもたちが大きく成長します。たてわり活動とは、1年生から6年生までのグループをつくり、交流を深めていく活動です。自分より年上の人、年下の人と接することを通して、集団の中で協力して活動し、自分の役割をやり遂げる力を身に付けるとともに、思いやりの心を育てることを目的としています。今年度は、全校児童が12人程度12グループに分かれて活動します。

7月5日(水)の2校時、今年度第1回目のたてわり活動を実施しました。たてわり活動では、事前の準備も大切です。各グループ、顔合わせで自己紹介をし、各自で事前に描いてきた似顔絵を大きな画用紙に貼りました。今年度は各グループに動物の名前がついています。また、名札には同じシールを貼って、グループ意識を高めました。残りの時間は、次の活動でどんな遊びをしたいか話し合ったり、カードゲームをしたりしました。どのグループも楽しそうに過ごしていました。

7月18日(火)の昼休み、2回目のたてわり活動を行いました。各グループ、5・6年生がリードして、前回考えた遊びをそれぞれ楽しみました。短い時間でしたが、たてわりグループで協力してゲームやクイズに挑戦し、楽しく活動することができました。

平和学習を行いました！

平成22年2月に、本市が「北九州市非核平和都市宣言」を行ったことを受け、7月を「全市一斉の平和に関する学習指導月間」として、各学校で創意工夫をしながら、児童生徒の発達の段階に応じた平和に関する指導をしています。中島小学校でも、毎年7月に、平和学習に取り組んでいます。(各学組の学習内容は2学期にお知らせします。)
「沖縄慰霊の日」「広島・長崎の原爆の日」「終戦の日」と続く夏のこの時期は、平和について考える機会が多くあります。ご家庭でも、子どもたちが学習した機会を捉えて、話をしてみたいかがでしょうか。

家庭学習週間 頑張りました！

7月3日(月)から9日(日)まで、家庭学習週間でした。『家庭学習がんばりカード』には、しっかりと自分で決めた「めあて」が記入されており、子どもたちの意気込みが感じられました。この1週間、提出されたカードを見ると、めあてを達成しようと頑張る様子がうかがえる人がたくさんいました。最後は、「毎日めあて通りに頑張れた」「目標を達成できなかったので、次は頑張りたい」など、ほとんどの人が自分の振り返りもしっかりできていました。保護者の方には、お忙しい中毎日カードに印(サイン)をいただき、また、コメント欄には温かい言葉(エール)をありがとうございました。

自学ノートスペシャルコーナー

今回の家庭学習週間に学習したものの中から、各学級2~3名分を、職員室前に掲示しています。低学年はプリントや漢字ノートなどを、中・高学年は自学ノートを掲示するようにしています。これからも、月に1回程度、「スペシャルノート」として掲示します。子どもたちには、クラスの友達や上学年のノートの学習内容や書き方等を参考にして、日々の家庭学習をより高めていってほしいと思います。ご家庭でも声かけをお願いいたします。

「福岡県同和問題啓発強調月間」について

福岡県では、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」とし、県民一人一人の人権意識の高揚を図るとともに、人権が尊重される社会の実現に向けて、本市をはじめ県内各地で様々な取組を行っています。また、学校においては、いじめの問題、同和問題等の様々な人権課題の解決において、人権教育の果たす役割の重要性を自覚し、道徳の時間や学級活動の時間はもちろん、全教育課程の中で発達段階に応じた人権教育の推進に取り組むよう努力しています。また、これらの教育課程の中に加えて、機会を見つけて話をしていきたいと考えています。

水難事故に気を付けよう！

- 河川水難事故を防ぐには
 - 河川が氾濫してからでは遅いので、早めに避難すること。
 - 避難が遅れた時には、建物等の高い場所に避難すること。
 - 川の様子が急変する前兆(山鳴り、増水、水の濁り、流木、減水、落雷、腐った土や火薬のようなにおい等)があれば、避難すること。
 - 河川で遊ぶときには
 - 大人と一緒に行く。子どもだけでは絶対に遊びに行かない。
 - 必要な道具(ライフジャケット・運動靴・ヘルメット等)を準備する。
 - 行き先の天気を調べていく。大雨注意報・警報が出ている場所には行かない。
 - 遊泳禁止区域等、危険箇所では決して遊ばない。
- ※ 河川水難事故は全国で毎年多発している。